

# 北海道立旭川美術館空気調和・給排水衛生設備運転保守管理等業務処理要領（案）

この要領は、空気調和・給排水衛生設備運転保守管理等業務の概要を示すものであり、本書に記載されていない事項であっても、現場の状況に応じて受託者が必要と認めた業務もしくは、美術館（以下「館」という）が管理上必要と認めた業務は委託料の範囲内で実施するものとする。

## 1 業務範囲

- (1) 空気調和設備運転保守管理等業務 一式
- (2) 給排水衛生設備運転保守管理等業務 一式

## 2 配置する技術者及びその資格

- (1) 次の資格を有する技術者を配置すること。
  - ア ボイラー技士（2級以上）
  - イ ボイラー整備士
  - ウ 危険物取扱者（乙種4類）
- (2) 心身に著しい欠陥を有せず、委託業務を行う能力を有する者であること。
- (3) 身元が確実で、素行が正しい者であること。
- (4) 責任感を有し、かつ、公共施設の品位を損なうおそれのないものであること。

## 3 保守業務等体制

24時間（午前8:00～翌朝8:00）勤務体制（2人常駐）とする。ただし、必要と認めた業務は勤務体制にかかわらず保守技術者を派遣し業務を遂行すること。

また、配置する技術者の名簿（氏名、生年月日、資格、住所を記載し、顔写真貼付のものとする。）及び資格免許証の写しを提出し、主任技術者を定めること。

## 4 保守業務内容

保守管理業務の実施にあたっては、館の指示に従い、美術作品に応じた温度・湿度を常に良好な環境で維持し、各種機器設備を点検するとともに、その運転状況を監視し機能を十分に発揮できるようにすること。

### (1) 保守管理項目

#### ア 冷暖房設備の保守管理

（人事委員会の実施するボイラー検査前にはボイラーの洗缶整備を実施し、検査に立会すること。）

#### イ 給排水設備の保守管理

### (2) 運転監視

#### ア 機械の運転及び停止の指示確認

#### イ 機械故障警報に対する監視

#### ウ 機械室の機器の運転状況の監視

### (3) 運転保守

#### ア 温水ボイラー

- ・ 日常の運転・監視・点検

- ・ 月1回運転状態の機能点検・記録（運転期間中）

※年1回、館の指示する日にボイラー及び圧力容器安全規則第38条に規定する性能検査を受けるために、洗缶整備を実施し、検査に立会すること。

#### イ 重油タンク・サージタンク

- ・ 油使用量・残油量の点検

- ・ 燃料油の点検・給油の立会い

#### ウ 煤煙濃度監視装置

- ・ 日常の取扱い・調整・点検

- エ 冷水ヘッダー・温水ヘッダー
  - ・弁の開閉操作・ドレーン抜等の作業
- オ 空調機・外調機
  - ・日常の運転監視・点検
  - ・フィルターの点検を月 1 回行う
  - ・各ダンパー類の調整
- カ 冷凍機（チラー）
  - ・日常の運転・監視点検
- キ 吸収式冷温水発生機
  - ・日常の運転・監視点検
- ク 冷却塔
  - ・日常の運転・監視点検
  - ・冷却水循環量の点検
  - ・冷却温度の点検
  - ・冷却塔カバー取外し、内外の清掃をシーズンイン及びオフ時に行う。
  - ・ストレーナー分解点検清掃をシーズンイン及びオフ時に行う。
  - ・冷却水張込をシーズンイン時に行う。
  - ・冷却水ブロー作業をシーズンオフ時に行う。
  - ・その他休止作業をシーズンオフ時に行う。
- ケ オイルギアポンプ
  - ・動作状態、送油量の点検を月 1 回行う。
- コ 給気、排気ファン
  - ・日常の運転監視点検
  - ・送排風量の点検調整
- サ 冷水、冷却水、温水ポンプ
  - ・日常の運転監視点検
  - ・電圧電流値の点検、帯熱、振動、異音等の点検
- シ 水槽類
  - ・マンホール通気管等異物、ねずみ・こん虫等侵入防止
  - ・内部汚染の点検
  - ・外部よりの汚染の点検
  - ・マンホール施錠の点検
  - ・水面異常の点検
- ス 電気温水機
  - ・日常作動状況の点検
- セ その他
  - ・その他付随する機器運転点検、調整

## 5 責任と報告

- (1) 設備機器の構造上の欠陥等メーカー等に責任がある場合、受託者はその責を負わない。
- (2) 設備機器に異常又は損傷がある時は、館に報告すること。
- (3) 受託者は所定の作業日誌を作業責任者が記名押印の上、翌朝 9 時までに館に提出すること。

## 6 その他

- (1) 館は受託者の作業員に控室等を無償で貸与する。
- (2) 受託者が作業上必要な光熱水費は館が負担する。
- (3) 受託者は貸与された控室等を常時清潔な状態で使用し、又光熱水費は極力節約に努めること。
- (4) 取換部品等については、館と受託者が協議の上決定する。